

学校だより



令和4年1月7日
横浜市立二谷小学校
校長 矢島 孝幸

「ぽかぽかことば」が溢れる学校

学校長 矢島 孝幸

昨年末のペア遠足に参加した時のことです。穏やかな臨港パークで子どもたちと時を過ごしました。その際に自分が興味ある電車に関してたくさん話を聞かせてくれた男の子がいました。あまりの詳しさに驚かされると同時に感心するばかりでした。興味があることに対する子どもの熱意を改めて感じました。日々の学校生活でも自分の力を全力で尽くせるような教育活動を実践していかななくてはとつくづく思い直しました。また、児童会活動の一環である「つながり郵便」で何通かの手紙をもらいました。「いつもありがとうございます。」「学校へ行くのを楽しみにしています。」等、感謝の言葉から元気をもらいました。どの手紙にも「これからも楽しい学校にしてほしい」というメッセージが込められているのを感じました。子どもたちの期待に応えないといけないと強く思っています。

穏やかな2022年の幕開けです。『新年明けましておめでとうございます。』今年も本校へのご支援とご理解をお願い申し上げます。今年は、新型コロナウイルスの感染が拡大することなく、子どもたちが安心して日常生活と学校生活を送れることを切に願います。

『すごいね・大丈夫』『いっしょにやろう』『ありがとう』『それいいね』

『きみならできる』『いっしょにがんばろうね』『だいじょうぶだよ』

『ナイス!』『やさしい言葉でがんばろう』…ここに挙げたのは、人権週間の取組として各学級で意識した〈ぽかぽかことば〉です。人権週間は次のようなねらいをもって重点的に取り組む週間です。

- ・誰もが安心して豊かな生活を送ることができる学校にする。
- ・互いに相手を思いやり、認め合う毎日を通して、自己肯定感・自尊感情が高まるようにする。

これは、この週間だけでなく、1年間を通して、いや普遍的な学校の取組でなくてはいけません。人権週間を設定することで特に子どもが意識するようにしています。そして、この取組が「いじめの根絶」につながる学校の風土にしていきたいと思えます。〈ぽかぽかことば〉が溢れる学校を目指します。

さて、昨年末は「学校評価・保護者アンケート」へのご協力をありがとうございました。その中で、多くのお声として「いじめ防止や学習の充実に向けた学校の取組が分からない」というご意見をいただきました。また、「あいさつ・運動・食事」に関して「改善が必要である」という評価が多かったです。この点に関しまして、真摯に受け止めて来年度の教育活動の改善につなげていきたいと思えます。学校の取組や子どもたちの姿が少しでも伝わるよう、職員全体で考えていきます。貴重なお声をお寄せいただき、感謝申し上げます。さて、最後に次のことへのご理解とご協力をお願いいたします。



本校は、午前8時に開門します。開門時刻前に多くの児童が正門前に集まると車道へ飛び出しの危険が生じたり、近隣へのご迷惑となったりします。開門時刻に合わせて登校するようご理解とご協力をお願いいたします。